

富山県知事 石井 隆一 様

東日本大震災の発災直後より、富山県、そして富山県民の皆さまには、物心両面にわたり多くのご支援をいただき、衷心より感謝申し上げます。

平成23年3月11日に発生した、東日本大震災大津波により、山田町では800人以上の尊い命を失い、家屋の4割強が全壊し、私達が永年に渡り大切に築き上げてきた財産は、一瞬にして膨大なガレキの山と化してしまいました。

町では、町民の早期生活再建に向け、様々な事業に着手したところですが、その上で最大の障害となったものは、その膨大な量のガレキ(災害廃棄物)の処理でした。

そのような状況の下、災害廃棄物の広域処理につきまして、富山県知事をはじめ関係者の皆さまには、いち早くご検討を頂き、最終的には本格的な受入れのご英断をしていただきました。

災害廃棄物に対する様々な風評がある中での皆さまの勇気あるご決断は、不安や戸惑いの中で復興へと歩み始めた私達山田町民に非常に大きな希望を与えるものとなりました。

また、富山県の前向きな取り組みが全国に伝播し、災害廃棄物の広域処理の重要性をご理解くださる自治体や住民が増えており、大変ありがたく思っている次第であります。

皆さまからのご支援にお応えするため、町の早期復興に全力を注ぎ、町民とスクラムを組んで精一杯頑張る所存ですので、今後とも引き続き、ご支援くださるよう、お願い申し上げます。

富山県の皆さまには、本当に感謝の気持ちでいっぱいでございます。
重ねて御礼を申し上げます。ありがとうございました。

平成25年9月11日

山田町長

佐藤信逸